

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		療育に必要なスペースはほとんどバリアフリーになっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活動に合った空間であるよう配慮し、毎日清掃・消毒を欠かさずおこなっております。また、季節ごとに合わせた環境設備の点検等も実施しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		毎日、利用児童に合わせた環境設定をして個別に使用できる環境になっております。また、集団で療育をおこなう場や専門的支援をおこなう場も設けております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日、サービス提供前に職員が集まり支援について話し合う時間を設けております。また、定期的に評価や課題分析、業務改善についての話し合いをおこなっており、共通理解に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年のアンケート結果をもとに保護者様のご意向を把握し、職員間で情報共有をおこない業務改善に活かしております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日、職員で打ち合わせをおこない意見や疑問を共有し、必要に応じて業務の見直しをおこなっております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		感染予防対策以降、外部研修は控えておりますが、本社記憶の動画研修や事業所内研修は定期的に実施しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトに公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		定期的な保護者様との面談を通じて、作成前にアセスメントをおこない、児童の状況や成長・課題を確認し、支援計画に反映しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握し、職員で共有・意見交換をおこない、客観的に分析して支援計画を作成しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員全体に周知し、目標に沿った支援を設定しております。毎日話し合いをおこない、日々の支援を提供しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたアセスメントツールを用いて聞き取りをおこない、児童の特徴や状況を把握しております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインを遵守しております。児童の特性にあわせて項目を選択し、必要な具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援計画をもとにチームで立案・役割分担し、協力して支援をおこなっております。立案内容は日々の話し合いで見直し、より良い支援の提供に努めております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節ごとの製作や行事、個別療育に加えて小集団療育など、利用児童の状況にあわせて活動プログラムを提供しております。また、系列事業所との情報共有や専門職の手法も取り入れ、多彩な支援をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		計画に基づき、個々の発達段階に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ対応しております。PDCAサイクルに基づく確認も怠らないようしております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日職員で打ち合わせをおこない、職員配置や環境設定をおこなっております。担当児童に限らず、全利用児童への共通理解と支援ができるよう情報共有に努めております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援翌日の朝、前日の支援に対し、成功点・工夫点・気になる点を出し合い、次回利用時に活かすよう取り組んでおります。勤務や業務の都合により参加できない職員へは共有や連絡帳を活用して情報共有に努めております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の療育内容・体調・生活状況などの気づきも記録し、職員間および保護者様と共有しております。保護者様からの連絡帳や口頭連絡をもとに、当日の状況を把握し、把握し、支援改善に活かしております。	
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングや保護者様からの相談・日々の会話をもとにご要望を把握し、児童の状況や支援見直しの必要性を検討しております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		滞在時間・体調・情緒を見ながら、複数の基本活動を組み合わせ支援をおこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		個々の特性に合わせて、選び取りの方法を工夫し、自己決定を促し養う支援をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		相談支援事業所が機能していないケースもあり、セルフプランで受給者証を取得される方が多いため、担当者会議は少ないですが、状況に精通した職員が参画し、必要に応じて関係機関との情報共有に努めております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて関係機関との連携に努めております。送迎時などに先生方とお話をすることもあり、連携を図って支援をおこなうよう努めております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時や連絡帳・電話対応を通じて、必要に応じた連絡調整をおこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者様を通じて情報を発信し、必要に応じて関係機関の先生方と連携をとっております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		開所から現在まで、該当する児童は在籍しておりません。	今後、必要とする児童が在籍する場合には、関係機関と連携し、支援内容等の情報共有と相互理解に努めてまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		感染予防対策以降、外部での参加は控えております。	今後は外部での研修等への参加を検討してまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		現時点では、個人情報の観点から、外部との交流の機会は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		感染予防対策以降、外部での参加は控えております。	今後は自立支援協議会への参加を検討してまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時の相談や家族支援を通じて学校やご自宅の様子を伺いながら、適切な助言に努めております。こちらから気づいた点をお伝えすることで、状況や課題の共通理解につながっております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		感染予防対策以降、研修等の開催は控えておりますが、ご相談をいただいた際は、必要に応じて時間を設け、個々の状況に応じた助言をおこなっております。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、質問やご不明点がないかなど確認しながら進めております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談・アセスメントにて保護者様のニーズや課題を把握し、職員で共有・意見交換をおこない、客観的に分析して支援計画を作成しております。計画の見直しはご要望に応じてその都度おこなっております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者様とお話の中でガイドラインに沿って支援計画を立て、ご意向や課題に相違がないかを確認し、十分な説明のうえ同意を得ております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡帳・送迎時・電話対応など保護者様とのコミュニケーションツールを活用し、こちらからの気づきによるお声かけや家族支援での助言に努めております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		感染予防や保護者様の就業状況の観点から開催は控えておりますが、今後は保護者様のご意向をふまえて、必要に応じて開催の検討をおこなってまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者様からの申し入れやご相談は、職員全体で周知し、状況説明と可能な範囲での対応を迅速かつ丁寧におこなうよう努めております。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		季節ごとのCOMPASSだよりや毎月の事業所だよりを発行し、公式ウェブサイトにて活動内容や児童の成長について報告しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの保管に徹底しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		口頭だけでなく、書面や提示物など可能な限りの手段を用いて情報を伝達し、保護者様にわかりやすい説明を心がけております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		感染拡大防止および個人情報保護の観点から、地域交流は控えております。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、事業所玄関に見やすく掲示・周知しております。感染症対応は流行時期に応じてシミュレーションをおこない、防災訓練は定期的にさまざまな状況を想定して実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画を策定し、地震・火災等を想定した訓練を定期的実施しております。実施後は振り返りをおこない、共通理解と改善に努めております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時や定期的なモニタリング時に必要な情報を詳細に聞き取り、全職員に周知・共有しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		対象となる児童がいる場合、保護者よりアレルギー調査票で医師の指示書の有無を含めて確認し、職員全体で把握し対応しております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		ガイドラインに基づいた安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施しております。安全管理については全職員で共通理解のうえ支援をおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		非常災害時の連絡先や避難場所・避難経路について、お手紙にてお知らせし、非常時に保護者様とスムーズな連携が図れるように努めております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットは気づきと危険予防に重点を置き、社内統一の様式を使用し報告書の作成・保管をおこない、標準化に努めております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的な研修と職員のセルフチェックをおこない、虐待防止マニュアルに沿って適切な対応に努めております。	
	54 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書に身体拘束の禁止を記載し、原則として身体拘束をおこなっておりません。やむを得ず身体拘束が必要となる場合は、事前に十分な説明をおこない保護者様の承諾を得たうえで、個別支援計画に記載して対応してまいります。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。